

研究施設昭和55年度報告

I 運営会議

6月19日, 第1回運営委員会, 於学部第一会議室, 昭和54年度事業報告, 決算報告, 昭和55年度事業案, 予算案につき討議, 承認, 出席者, 施設長羽田, 運営委員細川, 鈴木, 木村, 吉村, 関川, 輪湖, 布谷, 馬場, 田上, 中村, 施設員, 渡辺, 赤羽, 事務局, 清水, 松崎, 勝野, 百瀬, 西村, 小林(順不同, 敬称略)。

10月7日, 第2回運営委員会, 於志賀自然教育研究施設, 昭和57年度概算要求について討議, 承認, 出席者, 学部長岡宮, 施設長羽田, 運営委員細川, 鈴木, 岩井, 木村, 杵淵, 布谷, 田上, 中村, 施設員渡辺, 赤羽, 事務局清水, 松崎, 勝野, 百瀬, 西村, 小林(順不同, 敬称略)。

II 施設管理

展示館は5月1日より11月24日まで, 毎日開館。ロックガーデンの高山植物一部植えかえ作業は9月に行った。自然観察路は6月より11月まで質問板を設置した。展望台は破損のため立入禁止にする。木場湿原の橋がこわれたため応急修理をする。

III 印刷物

パンフレットは1万部印刷, 展示館にて配布。研究業績第18号を800部印刷(68ページ)各方面に配布。「長池の四季」は5月より翌年3月まで16回発行, 各400部印刷し, 地元配布, 「志賀高原の花ごよみ」を印刷, 希望者に配布。

IV 自然探勝会, 説明会

園内説明会は7月1日より8月31日まで毎日, 午前10時より実施, 合計1020名が説明を聞いている。申し込みによる説明は5月より10月まで23件, 2901名, 小・中・高・大学生, サークルなどであった。スライドによる説明は申込み2件あり, 430名, 県・町・地元主催の自然探勝会の説明は6月より8月まで11件, 319名。その他個人的な申込みによる解説は18件あり, 180名。全合計4850名が説明を聞いている。

V 合宿研修

昭和55年度学部二年度学生の合宿研修は6月24日より8月29日まで, 10班にわかれ, 各班3泊4日の日程でおこなった。この中に自然教育実習をおこなった。学生317名, 教官, 職員28名が参加。

VI 大学公開講座

大学公開講座「自然保護」は10月6日より10月12日まで, 学部において5回の講義。10月11・12日の一泊二日による野外講義で実施した。受講者17名。

VII 施設利用状況

宿泊施設の利用者は, のべ2401名。このうち学部関係利用者数はのべ1167名である。6月から9月(夏期)までの利用者は, のべ1411名。4月・5月・10月—3月(冬期)の利用者は, のべ990名である。宿泊施設の主な利用目的と利用者を, 表1に示す。

展示館・自然観察路の利用状況は, 展示館入口に記入名簿をおいて調査した。この記入名簿をもとに表2・3・4を作製した。記帳した参観者総数は23511名で前年より3400名ほど増加した。めだった特徴としては, 一般の団体数が倍増するとともに, 10名以下の家族づれや小人数のグループが増加してきた。なお, 記帳の状況を見ると, 自然教育園来園者の1/4~1/3が記帳しているにすぎない。したがって, 自然教育園の全参観者数は, 7~8万名を越えると推定される。

表1

施設の主な利用目的と利用者		
(一般研究・研修)		
6月3—4日	志賀高原における動植物の生態実習	信州大学教育学部羽田健三 他29名
6月7—9日	おたの申すの平の土壌調査	玉川大学農学部竹島征二 他5名
7月9—13日	生態学野外実習(東京都立大学理学部生物)	東京都立大学理学部木村充 他19名
7月29—31日	地震ゼミナール	大阪市立大理学部中川康一 他4名
8月9—13日	統計力学に関する研究・討論	名古屋大学工学部中野藤生 他17名
9月13—16日	森林研究調査	信州大学理学部只木良也 他7名
10月11—12日	大学公開講座「自然保護」	滝沢光男 他8名
2月18—19日	雪の結晶の研究	信州大学教育学部岩井邦中
(教育学部学生実習)		
6月24—7月7日	合宿研修 1班—4班(学生137名, 教官9名)	
7月18—28日	〃 5班—7班(学生81名, 教官9名)	
8月20—29日	〃 8班—10班(学生100名, 教官8名)	
(卒論研究)		
6月1—3日, 15—17日	土壌動物の調査	東京農工大学伊藤雅道

表2 来館団体の種類

	県 外		県 内		計	
	団体数(%)	人 数 (%)	団体数(%)	人 数 (%)	団体数(%)	人 数 (%)
小 学 校	24(10.3)	2,420(15.1)	2(9.5)	44(3.0)	26(10.3)	2,464(14.1)
中 学 校	45(19.4)	5,500(34.5)	5(23.8)	811(55.3)	50(19.8)	6,311(36.2)
高 等 学 校	53(22.8)	4,331(27.1)	3(14.3)	116(7.9)	56(22.1)	4,447(25.5)
大 学	19(8.2)	1,404(8.8)	0(0.0)	0(0.0)	19(7.5)	1,404(8.1)
一 般	91(39.3)	2,307(14.5)	11(52.4)	495(33.8)	102(40.3)	2,802(16.1)
計	232(100.0)	15,962(100.0)	21(100.0)	1,466(100.0)	253(100.0)	17,428(100.0)

表3 団体の県内外の比率(%)

	団 体					計
	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	大 学	一 般	
県 内	7.7	10.0	5.4	0.0	10.8	6.1
県 外	92.3	90.0	94.6	100.0	89.2	93.9

表4 月別参観者数

月	個 人 (%)	団 体		計 (%)
		団 体 数 (%)	人 数 (%)	
5	384(6.3)	29(11.5)	2,934(16.8)	3,318(14.1)
6	320(5.3)	24(9.5)	1,776(10.2)	2,096(8.9)
7	1,134(18.6)	104(41.1)	8,935(51.3)	10,069(42.8)
8	3,680(60.5)	63(24.9)	2,571(14.8)	6,251(26.6)
9	293(4.8)	12(4.7)	450(2.6)	743(3.2)
10	254(4.2)	21(8.3)	762(4.3)	1,016(4.3)
11	18(0.3)	0(0.0)	0(0.0)	18(0.1)
計	6,083(100.0)	253(100.0)	17,428(100.0)	23,511(100.0)